

U18 セミナー、イタリア語勉強会を追加しました。

次のコンサート、セミナー等へご参加ください。

- 1 チャペルコンサート「オルガンの散歩」
- 2 調律練習室
- 3 U18 セミナー
- 4 イタリア語勉強会
- 5 クラヴィコード、ヴァージナルの貸出

これらすべて無料で
す。

1 チャペルコンサート「オルガンの散歩」

「オルガンの散歩」は年3回、八王子ホテルニューグランドのチャペルで開催されるコンサートです。多くのグループや個人が出演します。コーラスや器楽アンサンブルでご参加ください。また、プレコンサートでは、少し編成の大きい、リュリのオペラから、5声の序曲等を取り上げています。このプレコンサートに参加下さる、歌や楽器の方も募集しています。プレコンサートの練習は山野辺宅で行っています。

2 調律練習室（年に6回程度あります。） 於当工房

10代前半ですと、調律はすぐできます。チェンバロやクラヴィコードの調律を試した後は、その調律した楽器でそれぞれ持ち寄った曲を弾きましょう。電卓をご持参下さい。

下記 U18 セミナーと一緒に行われます。ご都合が良ければ両方にご参加ください。

3 U18 セミナー 於当工房

☆フランス語を読む会（4月から）

今年はクープランの L'art de toucher le clavecin を読んでみましょう。

小中学生の方もご参加ください。予習不要

☆その他

不定期ですが、様々な分野で活躍されている方をお呼びして、お話を伺います。

今年は、ヨーロッパのオーケストラ等で活躍されている方のお話、キリスト教と音楽、ギリシャ神話、等を計画しています。

4 イタリア語勉強会（4月から）

言葉は、もともと音であり、生きた言葉は「音」でしか覚えられません。従って、正しい発音のできるネイティブの人がいないと語学は勉強できないということになります。しかし、イタリア人の先生が近くにいない場合も多いでしょう。中学、高校生さんはイタリア語のために時折遠方まで出向くことも難しいかもしれません。そこで、勉強するきっかけだけ提供しようというのがこの会です。なお、不定期ですがイタリア人の先生を招いてのイタリア語入門講座を計画しますので、これも活用下さい。

NHK のラジオイタリア語講座入門編を聞いて、実際に発音してみてください。そして、それをご両親に聞いて頂きましょう。イタリア人の発音と似ているか、あまり似ていないか聞いてみましょう。一週間に一度、覚えたイタリア語で、何行でもよいですから、言ってみて、また書いてみましょう。それをファックス等でお送り下さるか、電話で話してみてください。ファックスについては、こちらで出来る範囲でチェックして送り返します。

5 クラヴィコード、ヴァージナルの貸出

18才以下の方にクラヴィコードを無料で1年間お貸しする、「未来のクラヴィコード」委員会活動を続けています。次の4点をご確認の上、ご応募下さい。

①小論文 音楽をより身近にするための方法をまとめて下さい。これからの社会と音楽のあり方等、より広い意味での未来へのメッセージでも結構です。自分の言葉で、できそうな事を考えてみましょう。書式は自由ですが、手書きに限ります。正しい日本語で書かれ、論旨が明瞭であればよいです。

②イタリア語の勉強

今日西洋音楽と呼んでいるものはほとんどがイタリアを起源とするものであり、また、器楽曲といってもイタリア語やラテン語の歌を元にしています。つまり、イタリア語等を勉強しないで器楽の勉強をすると、強いアクセントや西洋人が普通だと感じるフレーズを、言葉でなく抽象的な概念として作らなければならず、音楽の勉強が進むにつれて困難を伴います。従って、歌の方も、器楽の方もイタリア語の勉強は程度の差はあれ必要です。近くにイタリア語教室があればそこへ通うことをお勧めします。また、上記、イタリア語勉強会もご活用下さい。

③フランス語の勉強（中学高校生対象）

勉強方法についてはイタリア語と同様です。フランス語でなく他の言語にする場合は、その理由を書面に表して下さい。

☆ 両言語とも一年後にどれくらいできるようになったか、それぞれの言語でA4、2ページ程度で表現して下さい。

④ 1年後のコンサート開催 最後にホームコンサート等、お友達を呼んで小さいコンサートを開いて下さい。一人でもご家族以外の方を含めば良いでしょう。そのプログラムをお送りください。

なお、返却時の送料（九州、北海道からの場合で5000円くらい）のみご負担下さい。なお、ヴァージナルも同様に無料で1年間お貸しする事としました。ただ、ヴァージナルは数が少ないので、事前に貸出楽器の有無をお問い合わせください。

その他 セルビア（旧ユーゴスラヴィアの一国で首都はベオグラード）との交流活動

ベオグラードの北西75kmほどのところにあるスレムスカ・ミットロヴィツァという美しい町の音楽学校 Музичка школа Петар Кранчевић へヴァイオリンを送る活動をしています。もし、あまっている4分の3、あるいは大人用のヴァイオリンがありましたら、着払いで下記までお送り下さい。在ベオグラード日本大使館を通じてこの音楽学校へ送られます。年1~2回程度を予定しています。

セルビアの音楽学校から生徒を毎年1人、上記「オルガンの散歩」に合わせて招待し、日本の中学生、高校生等と一緒に一つのコンサートを作る活動をしています。（このため、年一度はオルガンの散歩の練習は英語またはイタリア語になります。）セルビアの生徒は、多くの日本の中高生と一緒に音楽をしたいと思っていますので、積極的な参加をお願いします。